

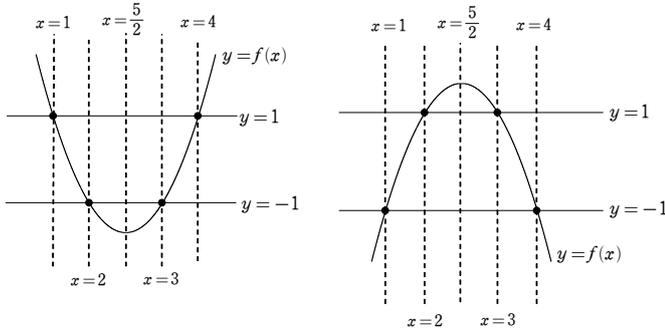
## 2次関数の決定

2次関数  $f(x)$  は、 $|f(1)|=|f(2)|=|f(3)|=|f(4)|=1$  を満たす。  
 $f(x)$  を求めよ。

< '04 東京電機大 >

### 【戦略】

放物線というグラフであることを考えると、条件を満たすためには



といういずれかの状況しかありえません。

そこで、 $f(x)=ax^2+bx+c$  というおき方ではなく、軸が  $x=\frac{5}{2}$  であることに注目した

$$y=a\left(x-\frac{5}{2}\right)^2+q$$

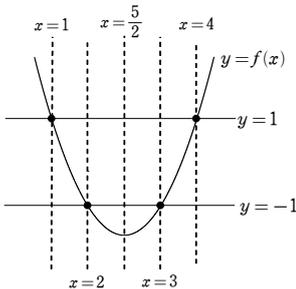
という形でおくのがよいでしょう。

この後も4点を代入する必要はなく、対称性から右半分(もしくは左半分)の通過点の立式で事足ります。

### 【解答】

$f(x)$  の軸は  $x=\frac{5}{2}$  であるため、 $f(x)=a\left(x-\frac{5}{2}\right)^2+q$  と表せる。

(i)  $a > 0$  のとき



(3, -1), (4, 1) を通るので

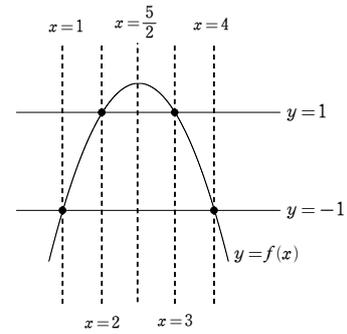
$$-1 = a\left(3-\frac{5}{2}\right)^2 + q \Leftrightarrow -1 = \frac{1}{4}a + q$$

$$1 = a\left(4-\frac{5}{2}\right)^2 + q \Leftrightarrow 1 = \frac{9}{4}a + q$$

これら2式から、 $a=1, q=-\frac{5}{4}$

$$\text{よって、} f(x) = \left(x-\frac{5}{2}\right)^2 - \frac{5}{4} = x^2 - 5x + 5$$

(ii)  $a < 0$  のとき



(3, 1), (4, -1) を通るので

$$1 = a\left(3-\frac{5}{2}\right)^2 + q \Leftrightarrow 1 = \frac{1}{4}a + q$$

$$-1 = a\left(4-\frac{5}{2}\right)^2 + q \Leftrightarrow -1 = \frac{9}{4}a + q$$

これら2式から、 $a=-1, q=\frac{5}{4}$

$$\text{よって、} f(x) = -\left(x-\frac{5}{2}\right)^2 + \frac{5}{4} = -x^2 + 5x - 5$$

以上 (i), (ii) から、求める  $f(x)$  は

$$f(x) = x^2 - 5x + 5, \quad -x^2 + 5x - 5 \quad \cdots \text{答}$$

### 【総括】

$f(x)=ax^2+bx+c$  ( $a \neq 0$ ) などとして

$$f(1)=\pm 1, f(2)=\pm 1, f(3)=\pm 1, f(4)=\pm 1$$

と式で押し通そうとするのは筋が悪いと言わざるを得ません。

状況の視覚化が強力にはたらくことを実感するいい例です。

まさに「簡単な難問」という類の問題で頭が固いと頭に血が昇るでしょう。